

神奈川県・秋季 H28

一次

択一

- ・社会科学
社会権、政党、
完全競争均衡&不完全競争均衡、経済の年代を当てる
- ・日本史 近現代
地理 外国の河川
- ・数学 一次関数と円卓での座り方が何通りあるか
化学 モル関数
生物 (重箱の隅をつつくような問題でした。うまく表現できません)
- ・文章理解 英文は短文で、現代文は長文でした
- ・数的 概ね例年通りでした。

個人的感想ですが、
解答用紙や問題表紙は関西の市役所試験と同じでした。
そのため、関西在住の方が受けに行っても何ら抵抗なく取り組めると思います。

論文

地震や豪雨などの自然災害が起きているが、
県民の命を守るために、安心・安全な街づくりを行うために、
行政として何ができるかあなたの考えを述べよ
といった感じだったと思います。

インフラ・ハードの指定もなく自由作文といった感じでしたが、
「県民」という言葉が出ているので、
行政一般論というよりは、
「県として何ができるか」を聞きたいのかと思いました。

自己PR文

昨年と全く同じです。

- ・志望動機：8行

- ・ 困難：25 行程
- ・ 強み：15 行
- ・ 社会的評価：罫線なしです。すべてマス目はありません。

その他注意点

- ・ 日本大学湘南キャンパスでした。
トイレの数が少なく、女性はもちろん、男性も長蛇の列ができていました。
休憩も 10 分しかありません。
空調は作業員の方が不在で、主電源も切られてました。
もしかしたら、空調管理ができないかもしれません。
- ・ 席は受付で席番号を渡されます。受験番号順ではありません。
- ・ 試験科目の順番は、
教養→論文→自己 PR 文となっていました。

(個人的意見ですが)

昨年までの報告によると、

「教養が簡単すぎる」

「数的満点いったかも」と仰る方が多かったです、

H28 年度はそうは思えません。

自然科学はマニアック、人文科学はマイナー分野が出ましたし、
数的も結局最後まで検討できませんでした。

一応、私は今年の家と自治体の筆記はすべて通過しています。

(個人的意見ですが)

昨年までの方々は

「自己 PR 文を途中で放棄」

「空白の人ばかりだった」という声もありましたが、

(私の部屋では) 教養だけで放棄した人→5 人ほど、
自己 PR 文を途中退室した人 (放棄か終わったか知りませんが) →5~6 人
社会的評価を記載している人も少々いました。

- ・ 上述の「教養簡単」「自己 PR 文放棄する人がいるから緩い試験」と思って、

自分で試験のハードルを下げると、
そのギャップで焦ることもあるかもしれませんので、
油断はできないと思います。

2次

おかげさまで合格をいただくことができました。
面接について報告させていただきます。

1日目(11/14)

性格テスト、面接シート記入

受験番号でグループに分けられ進む。
グループの最初であれば午前中に全て終了するが、
後ろの方だと 16:00 ごろまで拘束される。

自分の番が来るまでは試験会場から離れてもよい。

第1回・個人面接

若手職員 2 人による面接

雰囲気は終始おだやかで、
・志望動機などはつつこまれず、
・学生時代に頑張ったこと
・長所、短所など

自己 PR シートに書いたことをメインに進む。

自己 PR シートに書いたことに関しては、
きちんと答えられる必要がある。

2日目(11/17)

グループワーク

面接室の前でくじを引き、

アルファベットを決める。A～Gまで。

※面接中は大学名や本名など、

個人が特定されるようなことは言ってはいけない。

※指定された机に座り、面接官からの指示を聞く。

・流れ

1分間で簡単な自己紹介

↓

1分間で自分の考えてきた案を説明する

↓

話し合い

↓

3分間で発表

面接官は4人（男性3人、女性1人）

穏やかな雰囲気的女性の方が面接の流れについて説明する。

他の3人は終始話さない。厳しめの雰囲気。

私のグループは積極的に仕切ってくれる男性が2人いた。

的確な流れ作りや話題の展開は一切を2人に任せて、
私はその流れに乗っかるだけであったが合格したので、
特に目立たなくても、不合格になることはないと思う。

グループワークから個人面接は、

早い人はすぐだが、

後の人だと第1回面接同様17:00くらいまで拘束される。

自分の番まで試験会場の出入りは自由。

第2回個人面接 面接官4人。

面接の最初に5分間の自己アピールをする。

黒板を使ってもいいが、私は使わなかった。

グループワークと同じ面接官であり、終始厳しい雰囲気。

女性の方はまず受験者の緊張をほぐすような声をかけて下さる。

(質問内容)

☆の質問に対しては、掘り下げて違う角度から何度も質問された。

困るまで聞いてやろうという感じがした。

- ・受験状況、内定状況☆
- ・なぜ民間も受けたのか？☆
- ・なぜ武蔵野市ではなく、神奈川県庁なのか？
- ・なぜ広域自治体なのか？
- ・なぜ公務員なのか、いつから公務員志望なのか？
- ・神奈川県が好きなのところ、改善し方がいと思うところ☆
- ・東京都が好きなのところ、改善し方がいと思うところ
- ・大学のゼミでやっていること
- ・ラクロス部での活動で大変だったこと☆
- ・部で意見が対立し対処した経験☆
- ・部を辞めることに対してどう思う？
- ・自分の短所はどう改善した？☆
- ・人生で1番の挫折経験は？ 等

全体的に、
神奈川県庁の志望動機など形式的な質問よりも、
『これまでの経験から人となりを見る面接』だったように思う。

時間は 35～40 分ほどあり、非常に長く感じた。
面接官 4 人が同じ時間配分で質問をする。

以上です。